

# JSL「コミュニケーション力」水準表

ver.3.0

			CEFR	OPI	
I	－	入門 段階		A0	初級
	＋				
II	－	基本 段階 前期		A1	
	＋				
III	－	基本 段階 後期		A2	中級
	＋				
IV	－	自立 段階 前期		B1	上級
	＋				
V	－	自立 段階 後期		B2	超級
	＋				
V+	* Vを最高水準とし、「V+」以上は設けない。 「V+」以上の水準は、大学や大学院等での学問的な領域や、職場固有の、あるいは職業上の専門の領域で必要となる知識と技能を土台にした日本語コミュニケーション力とし、“生活者”のコミュニケーション力として必要な水準は「V」までとする。			B2 C1 C2	超級

# 測定の方法（面接）

1. 時間：15～20分（最大30分）
2. 質問&トピック：  
名前、住んでいる所、出身地、来日月日、家族、仕事、趣味、日本語学習、文化差、時事ネタ等
3. 進め方：
  - 可能な範囲で、自然な会話を
    - ・“テスター”というよりも、相互行為である会話の“相手”として話す（支援的態度で）
  - 面接シートの上から原則として順番にとばさずに
    - ・質問をいろいろと言い換えてみて、答を引きだす（⇒“言語によるくずし”の段階※参照）
    - ・展開質問（NNSの回答について、より詳しく尋ねる質問）は、1トピックにつき、最低一つはする
  - できるところをできるところまでやればよい
    - ・かなり大変な人 ⇒シートの前半に時間をかける
    - ・かなりできる人 ⇒シートの後半に時間をかける
    - ・中ぐらいの人 ⇒シートの中間部分に時間をかける（とくに展開質問）

## ※“言語によるくずし”の段階

- 1) 日本にいらっしゃったのはいつですか  
= 敬語を含む自然なもの
- 2) 日本に来たのはいつですか
- 3) いつ、日本に来ましたか／来た？
- 4) 何月何日、日本に来ましたか
- 5) 中国から日本、いつ？何月？  
= キーワード強調
- 6) 2月？3月？ = 具体例